

Wim



ウィム・ウォルブリック再々来日！ ストーリーテリングの世界へ パフォーマンス ● レクチャー ● ワークショップ

2007.7.27 Fri. ストーリーテリング・レクチャー 19:00 - 21:00 ● 「よみがえるストーリーテリング」

近年、世界各地で語りのフェスティバルが開催されています。人々は語りに秘められたパワー、その喜びや希望に気づき始めているのです。劇場、学校、浜辺や森の中、カフェや自宅など、あちこちに語りが戻ってきています。今日プロのストーリーテラーとして活動する人々は、こうした場所で語るだけではなく、企業や教育機関で語りのワークショップを行うなど、幅広く活躍しています。そうしたトレーニングを通じて、企業経営者はコンピューターや紙から離れて“語り”、教師は子どもたちの目を見て“語る”ことを学びます。そのとき言葉は単なる言葉ではなく、魂から魂への響きとなり得るのです。語り是人々の心を揺り動かし、企業に変革をもたらし、山をも動かします。それは、人々を魅了し、新しい生命を魂に吹き込むのです。

2007.7.28 Sat. ストーリーテリングと音楽のパフォーマンス 19:00 - 21:00 ● 「男と女はどのようにめぐりあい、ともに生きるのか」

音楽共演
小木曾綾
(ハーブ、笛、他)

“男性と女性”というテーマを、軽快に、ユーモアを交えながら、現代に通ずるストーリーの数々によって語ります。人智学が語る「人類の男性と女性への分離」という遙か昔に起こった人類の歴史的“交差点”を通して引き起こされた現象に、人はいかに取り組んでいくのか、人は性の相違から何を学び体得するのでしょうか。世界中には、このテーマについての、何千ものストーリーがあります。ウォルブリック氏はその中からいくつかを選び出し、心がぞくぞくするような、ユーモアあふれるパフォーマンスを展開していきます！

2007.7.28 Sat. ストーリーテリング2日間ワークショップ 7.29 Sun. ● 「ストーリーテリングの世界へ！」 10:00 - 16:00

昨年、一昨年と開催してきた1日ワークショップ。そこでは語りの世界をつかの間垣間見て、その匂いを感じ、語りの世界の表面にそっと触れてきました。今年の2日間ワークショップでは、その出会いを更に掘り下げていきます。参加者一人ひとりが個人的にウォルブリック氏から指導を受ける時間を持ち、その人の持ち味を生かした“ストーリーテラー”をそれぞれの内に発掘します。一人ひとりの学びは、参加者全員とシェアすることで皆の学びへとつながるでしょう。(初めての方の参加も歓迎いたします)

レクチャーではこんな内容を…

講義では、現代におけるストーリーテリング（語り）の重要性についてお話しします。

- ・お話のパワーについて
- ・ストーリーの起源について（なぜ人々はお話を語り始めたのか）
- ・伝承されてきた説話は私たちに何を伝えようとしているのか



ワークショップではこんなことを…

2日間ワークショップでは、以下の点に重点を置いて学びます。

- ・しぐさ
- ・声
- ・沈黙の使い方
- ・聴き手とのコンタクト（触れ合い）
- ・対話
- ・緩和と集中

ストーリーテラーとして学ぶことはたくさんあります。1日ワークショップで充実した体験をされた方も、2日間ワークショップではさらなる達成感を味わっていただけるでしょう。

パフォーマンスではこんなお話を…

「語りと音楽による人生の核心への探究」を目指し、以下のようなお話を用意しました。語りのタペの後には、テーマについてウォルブリンク氏と懇談する時間が設けられます。

『包み』 その女は、夫との難しい関係に苦しんでいた。ある夜、夢の中で天使が女に左の肩を見るように言う。そこにはたくさんの包みがあり、自分の包みを開いてみるとそこにその女の抱えている悩みや重荷、心配事を見つける。天使が他の包みと女の包みを交換してもよいというので、女は良さそうな包み一つを選んで開いてみると、そこには女の包みに入っていたものとそっくりのものが…。そのとき右の肩を見てみると、そこにまた別の包みを見つける。それは女の内に秘められた才知と能力にあふれており、左肩にある包みを十分に支えられるものだった。果たしてその女は生きる喜び、幸福はいかなるものとなるか。

『男と女はどのようにして出会ったか』 神が男と女を創り、そして彼らを離れ離れにするというユーモラスなお話。最後に彼らはお互いを見つけ出すが、お互いが違う存在であることも感じる。彼らが本当に出会い、新たな人生を共に歩んでいくまで、多くの滑稽で面白い段階を踏んでいく。

『役割り交換』 スウェーデンの説話。木こりの夫は家事をまったくしない妻に満足していない。そこで夫婦はお互いの役割り、仕事を交換することに。ところが、すべての家事は思うようにいかず…。滑稽なお話。

その他、『石攻めの刑』『投獄されて』『まつ毛』の上演を予定しています！ぜひ、お楽しみください！

参加費

- レクチャー…………… 1,500円
- パフォーマンス…………… 2,000円
- 2日間ワークショップ… 15,000円
- すべて参加の場合…………… 17,000円

お申し込みは tel、fax または mail にて
参加者氏名・住所・TEL をご連絡下さい。

フォーラム・スリー
tel. 03-5287-4770
fax. 03-5287-4771
info@forum3.com



小木曾綾（おぎそあや）さん

中世ルネサンス時代のヨーロッパ社会を背景とした音楽を探求することから見える、現代日本の音楽文化や日本の町の音風景・音環境、音や音楽を通じた人間関係に関心をもち、自身の音楽活動を通して探求。2002年、愛知・犬山市にて「城下町音ひろい」を立ち上げ、古楽の普及、人々との音楽の交流、日本人の聴覚的感性の探求、実験音楽を目的に、合奏会やワークショップを定期的に開催している。

ウィム・ウォルブリンクさん <http://www.werder.nl/>

オランダ・ストーリーテリング協会役員。ヴァルドルフ教員養成プログラムを学んだ後、英エマソンカレッジのストーリーテリングコースおよび Storytelling as Healing Arts 修了。現在プロのストーリーテラーとして、子どもから大人まで幅広い対象に公演や講座を行っている。オープンフォーラム早稲田での2回のワークショップは、ストーリーテリングの本質を体験的に学べると、好評をいただいています。

